令和元年７月　下水道局　資料1

平成３０年度　流域下水道事業会計決算の概要

■ 決算のポイント

［42都道府県の流域下水道で公営企業会計の導入は
5団体（埼玉、茨城、東京、大阪、兵庫）のみ
（平成30年4月1日現在）］

- 平成30年度決算は、7億2,275万円の純利益、前年度に比べ約5億円の減少。
- 処理水量は、前年度に比べ年間1,644万立方メートル、2.5%の減少。
  これに伴い関係市町の維持管理負担金は前年度に比べ約5億円の減少。
- 原油価格の動向などから、電気料金が前年度に比べ約４億円の増。
- 高利率の企業債の償還が進み、企業債利息が前年度に比べ約1.7億円減少。

損益の状況（消費税及び地方消費税を除く）

■ 収益	**475億8,862万円**	（対前年度比　▲8億5,655万円）	＊維持管理負担金、一般会計繰入金等
■ 費用	**468億6,587万円**	（対前年度比　▲3億7,443万円）	＊汚水処理や維持管理の経費、減価償却費等
■ 純利益	**7億2,275万円**	（対前年度比　▲4億8,212万円）	

資本的収支の状況（消費税及び地方消費税を含む）

■ 収入	**247億 5,220万円**	（対前年度比　＋19億4,872万円）	＊国庫補助金、建設負担金、企業債等
■ 支出	**303億　696万円**	（対前年度比　＋14億1,637万円）	＊施設の建設改良の経費、企業債の元利償還金等
■ 収支差	**▲55億5,476万円**	（対前年度比　＋5億3,235万円）	＊不足額は損益勘定留保資金等で補填

■ 流域下水道事業会計のポイント

- ✓ 汚水処理や修繕などの「維持管理」：関係市町の処理水量に応じた維持管理負担金
- ✓ 終末処理場やポンプ場などの「設備投資」：高率（2/3又は1/2）の国庫補助金＋関係市町の建設負担金＋企業債

業務量

6億4,731万立方メートル
（1日平均：50mプールで約710杯分に相当）

- 約544万人の家庭排水（BOD:120～230mg/L）等を
  良好な水質（BOD:2.4mg/L）にして河川へ放流
  ※ BOD（年平均）:生物化学的酸素要求量。水質汚濁の代表的な指標で数値が大きいほど汚濁している。
  各放流先の河川の環境基準に適合している。アユが棲める水質は3.0mg/L以下。

維持管理（税抜。減価償却費等を除く。）

汚水処理等の経費は約226億円

財源　市町負担金　226億円

- 約2割を占める電気料が前年度比約4億円増加
- 老朽化が著しい施設の修繕を約78億円実施
- 経営の安定化を支援するため単独処理している市町等の汚泥を受け入れる共同処理を開始（2市、1組合）

設備投資（税込。翌年度繰越を除く。）

建設改良の経費は約230億円

財源	国庫補助金	123億円
	市町負担金	53.5億円
	県企業債	53.5億円

※ 前年度の繰越財源を含む

- 老朽化した機械電気設備の改築事業等に約139億円
- 現行の耐震基準に適合しない施設の耐震化事業等に約17億円
- バイオガスを抽出する下水汚泥の消化タンク建設等に約53億円
- チッ素とリンの除去率を高める段階的高度処理の導入等に約6億円
  ※ 段階的高度処理：大規模な施設改造をせずに、運転方法の工夫により処理水質の向上を図るもの。

引き続き、24時間365日、絶え間なく下水道サービスを県民に提供

平成３０年度　流域下水道事業会計決算の概要

■ 流域下水道管内図

流域下水道とは

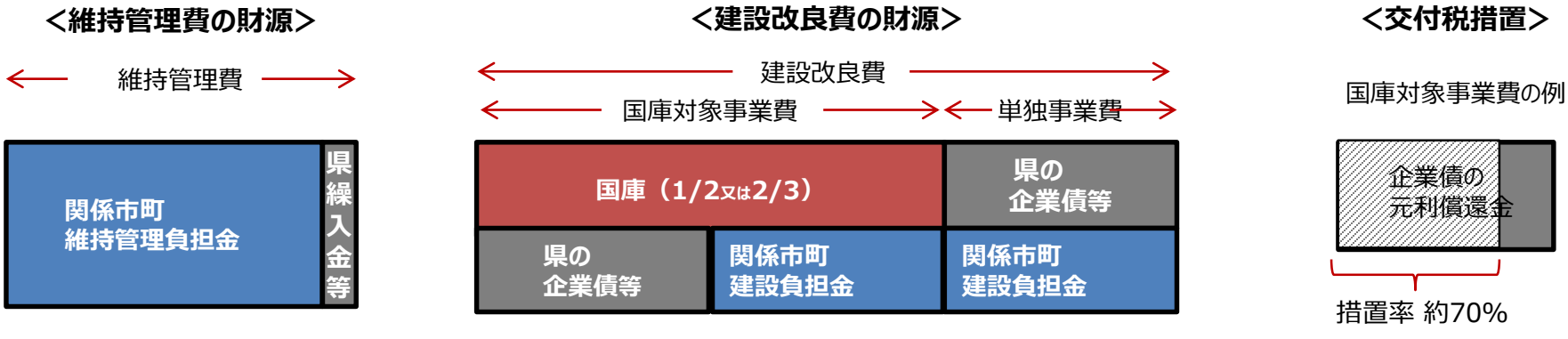
県内47の市や町の公共下水道をつないで下水を集め、終末処理場でまとめて処理する下水道で、県が建設し管理しています。

流域名	処理場	関係市町	平成30年度 年間処理水量	平成29年度末 処理人口
荒川左岸南部	荒川水循環センター	さいたま市、川口市、上尾市、蕨市、戸田市	219,394,973 m3	1,910,066 人
荒川左岸北部	元荒川水循環センター	熊谷市、行田市、鴻巣市、桶川市、北本市	50,429,300 m3	330,693 人
荒川右岸	新河岸川水循環センター 新河岸川上流水循環センター	川越市、所沢市、狭山市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町、川島町、吉見町	197,699,684 m3	1,622,244 人
中川	中川水循環センター	さいたま市の一部、川口市の一部、春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町	153,411,423 m3	1,362,886 人
古利根川	古利根川水循環センター	久喜市、加須市	15,068,237 m3	111,196 人
荒川上流	荒川上流水循環センター	深谷市、寄居町	1,997,312 m3	18,160 人
市野川	市野川水循環センター	滑川町、嵐山町、小川町	4,388,070 m3	37,415 人
利根川右岸	小山川水循環センター	本庄市、美里町、神川町、上里町	4,922,109 m3	50,920 人
計	8流域　9水循環センター	47市町	647,311,108 m3	5,443,580 人

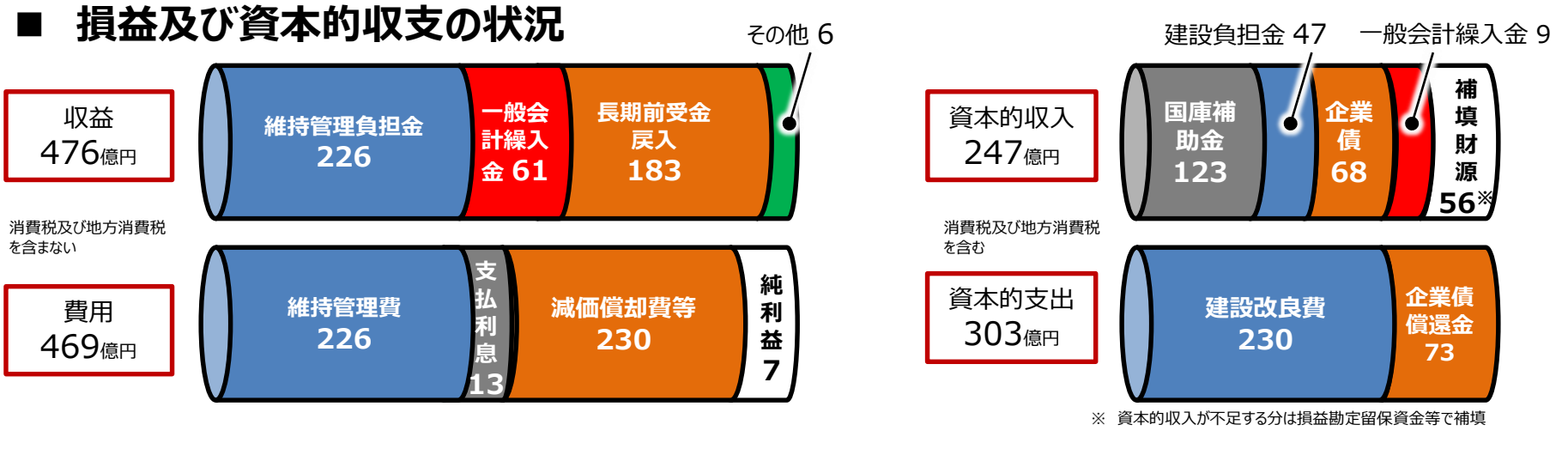
令和元年７月　下水道局

平成30年度　流域下水道事業会計決算の概要

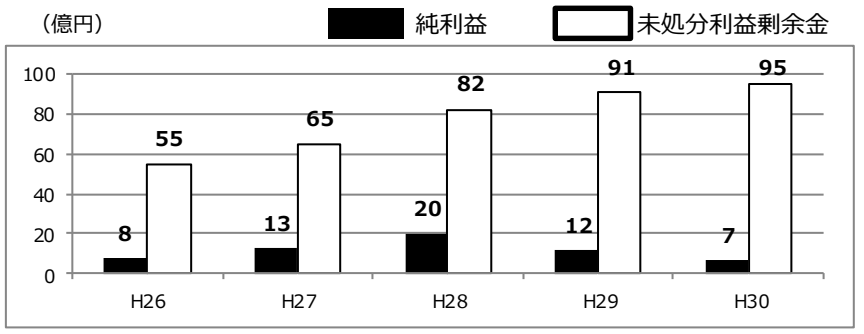
■　流域下水道事業の財政構造



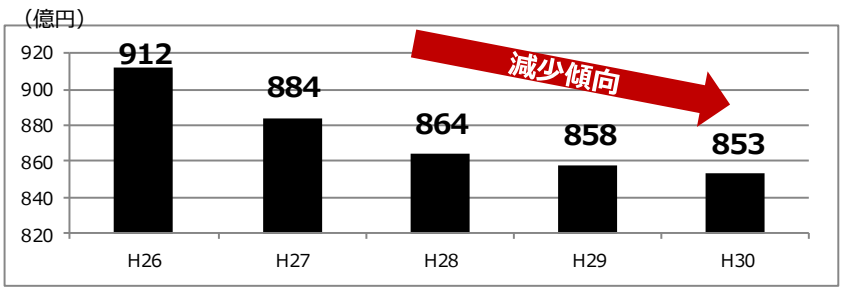
■　損益及び資本的収支の状況



■　損益の推移

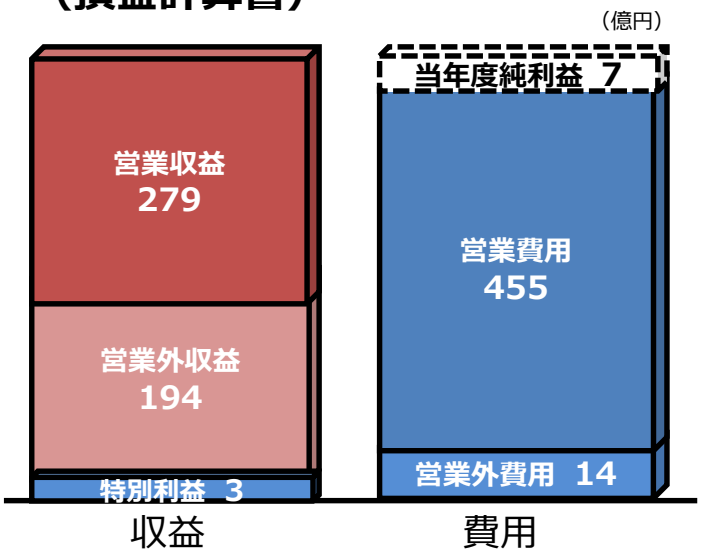


■　企業債残高の推移

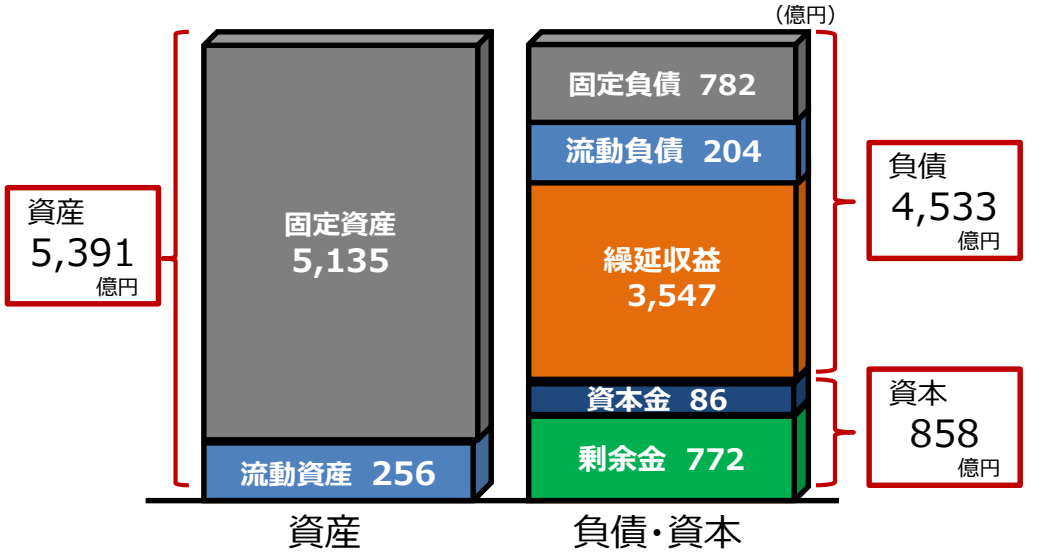


■　財務諸表の概要

（損益計算書）



（貸借対照表（平成31年3月31日現在））



（キャッシュ・フロー計算書）